

一般社団法人 日本物理学会
第73期物理学史資料委員会（2017年4月～2018年3月）活動報告（案）

委員長：永平幸雄

副委員長：岡本拓司

委員：高須昌子（担当理事）、有賀暢迪 稲葉肇 小長谷大介 佐々木孝彦 所澤潤 高岩義信 並木雅俊 難波忠清 林春雄

1. 物理学史資料委員会の開催

下記のとおり、4回の委員会議を行った。

第101回：2017年4月22日（土）14:00～17:30

第102回：2017年9月2日（土）14:00～17:15

第103回：2017年12月2日（土）14:00～16:50

第104回：2018年3月10日（土）14:00～17:00

2. 前年度のグループの再編成

前年度の「資料委員会保有資料の取り扱い」と「資料保存状態の監視及び長期保管・管理方法の検討」の2グループを「資料委員会資料の保存と管理」グループに統合した。また新たに「物理遺産の検討」グループを設置した。それに伴い、グループメンバーを再編成した。以下はその6つのグループと構成メンバー（◎印の委員はチーフ）である。

- ① 資料委員会保有資料の保存と管理
◎並木、高岩、所澤、事務局
- ② 『会報』掲載資料及び資料保存機関の情報の随時アップデートとオンライン化の検討
◎岡本(拓)、岡本(祐)、有賀、佐々木
- ③ 資料委員会のホームページの充実
◎高岩、林
- ④ 学会開催時のシンポ・展示等の企画検討
◎小長谷、有賀、稲葉
- ⑤ 「年表（第二版）」の定期的アップデート手順の検討
◎難波、岡本（拓）、並木、所澤
- ⑥ 「物理遺産の検討」
◎永平、岡本（裕）、林

3. 物理学史資料に関する情報

資料委員会会議時に各地の物理学史資料情報の収集を行った。以下は今期に報告された資料館、博物館である。

金沢大学資料館、東京大学駒場博物館、国立科学博物館、理化学研究所、核融合科学研究所核融合アーカイブ室、高エネルギー加速器研究機構・史料室、筑波大学・朝永記念室、京都大学基礎物理学研究所・湯川記念館史料室、新潟大学あさひまち展示館、東北大学金属材料研究所、竹原市民俗歴史資料館

4. グループによる6課題の活動

- ① 資料委員会保有資料の保存と管理
保存資料に関する4回の研修に参加し、資料委員会史料の保存・管理のための知識・技能の収集を行った。戦前の物理学会（東京数学会社から日本数学物理学会まで）の雑誌等の重要資料について、劣化しないように清掃後、専用の保存袋に保管する作業を行った。
- ② 『会報』掲載資料及び資料保存機関の情報の随時アップデートとオンライン化の検討

国立科学博物館との協力関係等を確認した。委員の担当可能な文書館等について意向調査を行う等、刊行準備作業を行った。

③ 資料委員会のホームページの充実

『東京数学会社雑誌第一号』の PDF をアップロードするなど、一部の改善を行った。資料委員会ホームページの現状と課題について議論した。

④ 学会開催時のシンポ・展示等の企画検討

2017 年秋季大会で「田中館愛橘に関する歴史資料と教育普及活動」と「緯度観測所から VLBI 観測所へー国立天文台水沢の歴史」の 2 件の企画講演を企画した。第 73 回年次大会では「入試問題の変遷ー試験問題から見る物理学の 100 年ー」の展示会を企画した。

⑤ 「年表（第二版）」の定期的アップデート手順の検討

2012 年～2014 年の「物理学関係」欄の原案が作成し、それをベースに内容の点検・校正作業を進めた。

⑥ 「物理遺産の検討」

「学術遺産」を認定している他学会の現状調査として 4 学会の Web 上の調査を行った。日本機械学会とアメリカ機械学会の「機械遺産」の比較検討、日本化学会の「化学遺産」とアメリカ化学会の Landmarks の比較検討である。その調査をもとに意見交換を行った。